

簡易地震計を用いた 災害拠点施設の即時被害推定システム

株式会社 EJEC エイト日本技術開発

地震発生後の「被害状況把握・初動対応」を迅速に行うシステムです。

本システムの目的・効果

初動対応の流れ	BCPにおける目標	本システム導入後
地震発生	—	—
職員参集・安否確認	6時間以内	6時間以内
被害状況調査（点検）	24時間以内	12時間以内*
災害対応	24時間以降	12時間以降*

*目標値

【本システム導入の効果】

- ◆ 詳細な計測震度分布の把握
- ◆ 施設の被災度の推定
- ◆ 施設の安全性・使用性の推定
- ◆ 点検・被害調査の効率化
- ◆ 災害対応人員配置の効率化
- ◆ 応援要請の早期実行

即時被害推定システム



システムの概要図



システムのイメージ図

徳島県吉野川市における実証実験(2018.9~)

徳島大学 中田成智准教授との共同研究

Next Generation Disaster Information System

NeGDIS

事業責任・代表・技術開発



構造計算・地域連携
土壌・建物のトータルプランナー
株式会社 松島組

建設コンサル

株式会社 エス・ピー・シー

電気工

株式会社 エイト日本技術開発

協力自治体



通信・ネットワーク整備

STAN
STAN Systems Corporation

産業用機械設計

YOKOTA
CORPORATION

システム開発

EJEC 株式会社 エイト日本技術開発

産官学連携のコンソーシアム

